

専門医活動報告書の記載の手引き

先生方の日常診療(回診, 指導, カンファレンスの開催や参加なども含める), 教育(医学生, 医師, コメディカル等), 研究, 社会活動などを幅広く取り上げ、総合的に専門医の活動を評価する基本方針です。この手引きを参考にしてご記入下さい。

平成 年 月 日

提出日を記入して下さい。

会員用 Web システムから
確認できます。

専門医活動報告書

フリガナ

専門医氏名 _____ 印 _____

専門医登録番号 _____

勤務先 _____

1 診療及び活動実績

1) リハビリテーション医療を行った最近 1 年間の患者総数 (疾患群別に記入)

疾患群 1.	脳卒中および脳疾患	約	例/年
疾患群 2.	脊髄損傷および脊髄疾患	約	例/年
疾患群 3.	骨関節疾患	約	例/年
疾患群 4.	小児疾患	約	例/年
疾患群 5.	神経筋疾患	約	例/年
疾患群 6.	切断	約	例/年
疾患群 7.	呼吸循環器疾患 (内部障害を含む)	約	例/年

- 疾患群毎に、外来、入院、相談等がかかわった患者の概数を記入してください。これらの患者総数は臨床活動の有無を判定するためであり、必ずしも診療録から実数を抽出して記載する必要はありません。
- 患者総数には、主治医として外来や病棟で診察した患者の他に、指導医あるいは管理者として回診、カンファレンス、相談等がかかわった患者数を含めても結構です。
- 症例のない疾患群があっても構いません。ただし症例のない疾患群が4項目以上の場合は、**診療及び活動実績 2)②の欄に、日常の診療・研究・教育・社会活動を自由に記載して、専門医として活動していることが分かるようにアピールしてください。**

2) 過去5年間の具体的な「診療及び活動実績」を示す書類の添付

- ① 上記の各疾患群について、原則としてそれぞれ1件以上計10件の症例をご報告下さい（退院時サマリーなど：個人情報情報は抹消のこと）。

- かかわった疾患群については、それぞれ1件以上、**全部で10件の症例の報告**をお願いします。この書類は実際に診療または活動していることを証明するのが目的であり、報告文書や書類の種類、記載事項、記載量を判定するものではありません。なお、**10症例に満たない場合は再提出をお願いする場合がございます。**
- 症例の報告は200字程度で症例や診療の要旨または補装具判定の要旨を記載してください。書式は自由です。
- なお、報告文書作成を簡略化するため、日常診療時に先生方が既に作成した書類のコピーを、この症例の報告に代えることができます。下記に診療文書の例*を示しますのでご参照ください。

診療文書の例*（下記1)~7)の、いずれか1つで可）

症例の報告

- 1) 症例要旨(200字程度で症例や診療の要旨を記載)
- 2) 補装具要旨(200字程度で補装具判定の要旨を記載)

診療文書のコピー

- 3) 退院時サマリー、診療情報提供書(返書含む)、カンファレンスの記録
- 4) リハ処方箋
- 5) 補装具処方指示書、補装具交付意見書
- 6) リハ検査報告書(嚙下造影、電気診断検査、運動負荷試験、膀胱内圧測定検査、重心動揺検査、歩行分析など)
- 7) 介護保険主治医意見書、身体障害者診断書・意見書、障害年金診断書

② その他の診療、研究、教育、社会活動などがあれば自由にご記載下さい。

- **1-1)で症例のない疾患群が4項目以上ある場合は、こちらに日常の診療・研究・教育・社会活動などに関して自由に記載して、専門医として活動していることをお示しください。なお、記載のない場合は再提出をお願いする場合がございます。**
- 記載する項目の例*を下に示します。なお、内容を証明する書類添付は不要です。
- **症例のない疾患群が3項目以下の場合はこの欄に記載がなくても結構です。**

記載する項目の例*

福祉行政への協力(更生相談所での判定、社会福祉審議会への参加など)
学術活動(リハ医学に関連する学会発表、座長、論文執筆など)
社会的活動(患者団体への協力、市民公開講座の開催など)
教育活動
・医学部/関連職種学生へのリハ医学教育
・研修医・専修医・リハ科医師等へのリハ医学および診療の指導
その他

2 医療倫理と医療安全

過去5年間の医療倫理、医療安全などの研修会参加(施設内研修を含む)

- 研修会の参加、開催、講演等を記載してください。
- 医療倫理や医療安全に関する実践例、指導した事例、委員会活動などがあれば、研修会参加の代わりにそれを記載しても結構です。
- **研修会参加や事例等の報告ができない方は、医療倫理、医療安全に関する本や文献を読んで、学習内容の要約を200字程度にまとめてください。**
- 記載例*を下記に示します。内容を証明する書類添付は不要です。
- **本項目は記載必須です。記載のない場合は、再提出をお願いする場合があります。**

記載内容の例*

1)平成19年6月6日 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会
教育講演5「リハビリテーション医療と倫理問題」参加
2)平成19年10月X日 XX病院安全管理研修会 (XX病院主催)
「医事紛争から見てくる医療従事者の留意すべき点」参加

認定委員会では、「専門医活動報告書」に記載されている日常の臨床、教育、研究、社会活動などを幅広く取り上げ、総合的に専門医の活動として評価し、資格更新を判断いたしますので、必ず「専門医活動報告」を提出してください。